



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日  
上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社  
コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画グループ (氏名) 大戸 章浩 TEL 084-923-5552  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	18,560	4.4	716	△18.2	940	△11.8	721	△12.8
2024年3月期第3四半期	17,783	10.4	876	20.1	1,067	11.4	827	31.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 707百万円 (△28.8%) 2024年3月期第3四半期 993百万円 (31.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	58.68	-
2024年3月期第3四半期	67.53	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	20,065	7,129	35.5	579.25
2024年3月期	18,928	6,630	35.0	539.66

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 7,129百万円 2024年3月期 6,630百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	8.00	-	9.00	17.00
2025年3月期	-	9.00	-		
2025年3月期（予想）				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	11.8	950	23.8	1,150	10.8	800	4.1	65.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 -社 (社名)、除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	13,495,248株	2024年3月期	13,495,248株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,186,818株	2024年3月期	1,209,618株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	12,298,895株	2024年3月期3Q	12,257,105株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(企業結合等関係) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復傾向にあります。しかしながら、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場や為替の急激な変動などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

この環境下において、アシードグループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 ― すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて更新した「中期経営計画」に基づき、ブランド創造企業への挑戦、既存事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化を中心とした成長の加速に取り組んでいます。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高18,560百万円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益716百万円（同18.2%減）、経常利益940百万円（同11.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益721百万円（同12.8%減）となりました。

また、第1四半期連結会計期間より、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、「自販機運営リテイル事業」に含まれていたアシード株式会社の飲料ウェルネス事業の区分を、「飲料製造事業」へ変更しております。前年同期の値については変更後の区分で組み替えた数値を記載しております。

セグメントの業績は、次のとおりです。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

#### （自販機運営リテイル事業）

自販機運営リテイル事業におきましては、10月よりペットボトル商品を中心に、自販機での小売価格の値上げを実施し、利益率の改善を進めました。売価改定により販売数量が伸び悩む中、設置条件の改定、業務の効率化を図り収益性の向上に努めております。また、消費者の求める利便性に伝えるべく、新札対応のための機材の切替、キャッシュレス対応についても継続的に取り組んでおります。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は10,550百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益は287百万円（同19.8%増）となりました。

#### （飲料製造事業）

飲料製造事業におきましては、10月1日付で酒類・飲料製造2社を製造と販売の機能別に分割する組織再編を実施しました。各社の専門性をより高める事で、生産性の向上とブランド価値の創造を目指します。

10月には、ノンアルコール商品である「女王のノンアル」シリーズをデザインリニューアルするとともに、期間限定の新商品である「女王のノンアル ロゼ」を発売しました。また、第20回世界パラ会議福山大会2025に向けて開発した新商品「ローズスパークリングウォーター」を発売するなど、自社商品のラインナップを充実させ、全国展開を目指した商品力強化に注力しました。

酒類・飲料製造の2社については再編に伴う製造の停止や製造数量の伸び悩みにより一時的に採算が悪化しました。一方で、今期より前年度に子会社化した静岡コーストシステム株式会社の業績が通期で寄与、特に茶葉加工が堅調に推移したことによりセグメントの業績を押し上げました。

この結果、飲料製造事業の売上高は7,713百万円（前年同四半期比7.3%増）、セグメント利益は636百万円（同23.9%減）となりました。

#### （不動産運用事業）

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート株式会社を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は105百万円（前年同四半期比5.7%増）、セグメント利益は164百万円（同8.0%増）となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高172百万円を含めると278百万円となります。

#### （その他事業）

その他事業におきましては、東西の物流部門を強化すると共に、グループ内物流の内製化を進めており、その一環として、11月よりアシードブリュー株式会社東広島飲料工場の倉庫管理や製品の出入庫などの業務を、ロジックイノベーション株式会社に移管しました。

この結果、その他事業の売上高は190百万円（前年同四半期比4.0%増）、セグメント利益は27百万円（同94.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は20,065百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,137百万円増加しました。これは現金及び預金の増加651百万円及び商品及び製品の増加196百万円等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は12,935百万円となり、前連結会計年度末に比べ637百万円増加しました。これは短期借入金の増加780百万円及び長期借入金の増加269百万円等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は7,129百万円となり、前連結会計年度末に比べ499百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加721百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は35.5%（前連結会計年度末は35.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日「2024年3月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,570	2,221
受取手形、売掛金及び契約資産	3,482	3,573
商品及び製品	957	1,153
原材料及び貯蔵品	292	300
前払費用	151	163
その他	609	667
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	7,062	8,078
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,546	2,703
機械装置及び運搬具(純額)	2,699	2,622
工具、器具及び備品(純額)	52	52
土地	3,821	3,812
リース資産(純額)	334	295
建設仮勘定	66	113
有形固定資産合計	9,520	9,599
無形固定資産		
のれん	171	152
ソフトウェア	51	53
リース資産	21	14
その他	25	28
無形固定資産合計	270	249
投資その他の資産		
投資有価証券	1,430	1,546
長期前払費用	195	133
繰延税金資産	69	72
その他	423	430
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	2,075	2,137
固定資産合計	11,866	11,986
資産合計	18,928	20,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,795	2,926
短期借入金	2,330	3,110
1年内返済予定の長期借入金	1,281	1,136
リース債務	143	114
未払金	768	648
未払法人税等	234	63
未払消費税等	207	115
賞与引当金	180	116
その他	938	1,045
流動負債合計	8,880	9,278
固定負債		
長期借入金	2,757	3,026
リース債務	238	201
再評価に係る繰延税金負債	34	34
退職給付に係る負債	148	155
その他	238	239
固定負債合計	3,418	3,657
負債合計	12,298	12,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,034	1,036
利益剰余金	5,523	6,024
自己株式	△630	△618
株主資本合計	6,726	7,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	125
土地再評価差額金	△363	△363
為替換算調整勘定	133	126
その他の包括利益累計額合計	△96	△110
純資産合計	6,630	7,129
負債純資産合計	18,928	20,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	17,783	18,560
売上原価	10,875	11,575
売上総利益	6,907	6,984
販売費及び一般管理費	6,031	6,267
営業利益	876	716
営業外収益		
持分法による投資利益	145	179
その他	88	117
営業外収益合計	234	297
営業外費用		
支払利息	25	28
その他	18	44
営業外費用合計	43	73
経常利益	1,067	940
特別利益		
固定資産売却益	68	—
投資有価証券売却益	—	33
特別利益合計	68	33
特別損失		
固定資産除却損	—	44
特別損失合計	—	44
税金等調整前四半期純利益	1,135	930
法人税、住民税及び事業税	318	214
法人税等調整額	△10	△5
法人税等合計	307	209
四半期純利益	827	721
親会社株主に帰属する四半期純利益	827	721



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	827	721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66	△8
持分法適用会社に対する持分相当額	99	△6
その他の包括利益合計	165	△14
四半期包括利益	993	707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	993	707

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	583百万円	591百万円
のれんの償却額	15	18

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用 事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,309	7,190	99	183	17,783	—	17,783
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	105	164	47	319	△319	—
計	10,311	7,295	264	231	18,102	△319	17,783
セグメント利益	240	837	152	13	1,243	△366	876

(注) 1. セグメント利益の調整額△366百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用 事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,550	7,713	105	190	18,560	—	18,560
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	108	172	78	363	△363	—
計	10,553	7,821	278	269	18,923	△363	18,560
セグメント利益	287	636	164	27	1,115	△399	716

(注) 1. セグメント利益の調整額△399百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年10月1日付の組織再編を踏まえ、第1四半期連結会計期間より「自販機運営リテイル事業」に含まれていたアシード株式会社の飲料ウェルネス事業の区分を、「飲料製造事業」へ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法に基づき作成したものを記載しております。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

(連結子会社間の機能別再編)

(1) 企業結合の概要

① 対象となった事業

アシードブリュー株式会社が行う飲料の製造及び販売

宝積飲料株式会社が行う飲料の製造及び販売

② 企業結合を行った主な目的

販売部門の一本化による営業力の強化及び製造部門の一本化による機能の統一化を目的としております。

③ 企業結合日

2024年10月1日

④ 企業結合の法的形式

アシードブリュー株式会社を承継会社とし、宝積飲料株式会社の販売部門を吸収分割

宝積飲料株式会社を承継会社とし、アシードブリュー株式会社の製造部門を吸収分割

⑤ 結合後企業の名称

アシードビバレッジプラス株式会社 (吸収分割後、アシードブリュー株式会社から商号変更)

アシードブリュー株式会社 (吸収分割後、宝積飲料株式会社から商号変更)

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。